

魅力づくり活動日記

「地域活性化起業人」松井 彩さん

■問合せ ふるさと定住課 ☎72-6955

那須をつくる“ヒト”こそ最大の観光資源!

7月28日に開催された全国高等学校観光教育研究大会に参加しました。那須の観光分野に関わる方々による講演があり、さまざまな立場からみた観光についての考察を聞き、観光は人々の心に触れる瞬間を提供し、自然や地域、人々との絆を育む素晴らしい機会であると感じました。

最近では、欧米を中心にSDGsに重きを置く旅行者も増えていきます。例えば、飛行機移動で排出されるCO2のオフセットとして、地域とのふれあいや地域ボランティアに従事するな



私も講演に参加し、活動を発表しました

どの動きもあります。モノ消費からコト（体験）、そして訪れる地域やその地域で生活する人のファンになる「ヒト」へとシフトしつつあり、「地域貢献」というものが、新たな観光価値として認識されつつあります。

講演を聞き、那須高校の生徒たちが地域と連携し、真剣に観光と向き合っていることを知りました。生徒たちがこの町で紡いできた歴史や文化を旅行者に発信することが、今後新たな価値になると思うと、早くから地元の魅力に気づき触れることは非常に貴重なことだと感じました。

多くの“ヒト”の資源を育てていくために、これから那須を支える世代との架け橋として、那須をつくるヒトをクローズアップして情報発信をし、新たな交流や発見につながればと考えています。

短歌

夕日背に歩くわが影容赦なく
 老いの姿を映していたり
 米寿まで生くを願ひて今朝もまた
 那須の花野の景を探りに
 月一で「歌声広場」に集いては
 活力受けて八十路楽しく

守屋 はるみ
 仲川 浩庸
 田中恵美子

俳句 (2023年9月号)

那須文芸

秋茄子の紺色美しき朝の膳
 牛の歳間う幼児や秋さやか
 梁太き旧家は古し蕎麦の花
 月光や紫苑の花は映えわたり
 蝉殻や眼は生きて空睨み
 生き生きと市井の祭屏風の絵
 浴衣着て小さき孫の夏祭り
 指切の細き指もて螢の夜
 頬張れば冷たさ過ぎてかき氷
 大花火終った後の神の森
 蜻蛉の庭を飛び交ふ道の駅
 雲上のリュック枕の星月夜
 幼児に合わす歩幅の生身魂
 待ちきれぬ子らの下駄音遠花火
 絶壁の山をくずしてかき氷
 野の揺れをそのままに活け吾亦紅
 蛸のとだえて闇を深くせり
 山寺の日向に清し百日紅
 かなかなと今日もおわらぬ野良仕事
 那須五岳めぐりて探す花野原

丹野 セツ
 中島 君江
 生嶋 敏
 中塚 憲二
 佐藤 登
 池田 裕子
 高畑 和子
 垣内 孝雄
 須藤 さよ子
 大場 芦山
 藤井 康太郎
 松浦 秀文
 中島 慶子
 五月女 加代子
 深澤 千郷
 岡部 慶子
 平岡 丈子
 三瓶 真弘
 津田 イツ子
 仲川 光風

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 9月20日(水)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166

田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

企画政策課広報広聴係 ☎72-6935

ALTとあそぼう!

表紙の話

～幼児期から楽しく英語にふれる～

(黒田原第1保育園)

黒田原第1保育園は8月10日、幼少期から楽しく英語に触れることを目的に、ALTのダイヤー先生とエスタ先生を招き、5歳児との交流会を行いました。

子どもたちは、先生のまねをしていろいろな英単語を声に出して言ったり、英語の音楽に合わせて輪になって歩くなど、楽しい時間を過ごし、貴重な体験ができました。